

## 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年7月1日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野由美子

1.開催日時	2023年6月22日	(木)	19:00	~	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	鶴川1	・	鶴川2	・	
4.参加人数	22人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 5人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 8人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input type="checkbox"/> 行政 人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( オブザーバー: 医薬卸1 )				
6.開催テーマ	合同地域ケア推進会議「(仮)大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」に向けて				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>				
8.会議の内容	<p>○報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防リーフレット・レシピ設置状況報告</li> <li>・災害時用連絡名簿検討部会からの報告:本日1回目を実施。災害時の安否確認の効果的効率的の方法について検討を重ねる。</li> <li>○今年度の地域ケア推進会議のテーマ「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために今、私たちができることは？」について協議</li> <li>・テーマ、タイトル決定</li> <li>・当日次第案に基づき役割分担</li> <li>・今後の進め方の確認</li> </ul>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」圏域合同地域ケア推進会議において、圏域で開業されており町田市の災害医療コーディネーターである村野小児科アレルギー科院長村野氏に鶴川圏域における災害時の医療体制について講義頂く。薬局の取り組みについては、薬剤師の鯨岡氏に講義頂く。介護事業所の担当者は、次回以降に決定する。各取り組みを聞き、災害を乗り切れる鶴川圏域の構築を目指して検討を進める。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

6月28日